

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2019-202541 (P2019-202541A)

【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-048

【出願番号】特願 2019-100791 (P2019-100791)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/64 (2013.01)

【F I】

B 4 1 J 2/175 1 7 5

B 4 1 J 29/00 Z

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 2/175 1 1 9

G 0 3 G 21/00 3 9 0

G 0 6 F 21/64

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 17 日 (2020.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

交換部品の交換時期に関わる数値情報と、
前記数値情報を受信する受信手段と、
前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段が記憶する最新を含む二つの前記数値情報同士を比較する第 1 手段と、
前記第 1 手段の比較により記憶する最新の前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第 2 手段と、

前記第 2 手段により改ざんされたと判定した際に、記憶する最新の前記数値情報を改ざんされる前に戻す第 3 手段と、を備え、前記交換部品に備えて用いることを特徴とする IC チップ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の IC チップを備えることを特徴とする交換部品。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の交換部品の装着手段と、
前記数値情報を前記 IC チップへ送信する送信手段と、を備えることを特徴とする装置。

【請求項 4】

交換部品の交換時期に関わる数値情報と、
前記数値情報を受信する受信手段と、
前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段が記憶する最新を含む二つの前記数値情報同士を比較する第１手段と、
前記第１手段の比較により記憶する最新の前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第２手段と、

前記第２手段により改ざんされたと判定した際に、記憶する最新の前記数値情報を改ざんされる前に戻す第３手段と、を備え、前記交換部品に備えて用いることを特徴とするモジュール。

【請求項５】

交換部品の交換時期に関わる数値情報と、
前記数値情報を受信する受信手段と、
前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段および前記受信手段を有するＩＣチップと、
前記ＩＣチップを有する前記交換部品を装着する第１手段と、
前記第１手段が装着した前記交換部品と対応する前記数値情報を記憶する第２手段と、
前記第２手段が記憶する前記数値情報と前記ＩＣチップが記憶する前記数値情報同士を比較する第３手段と、

前記第３手段の比較により前記ＩＣチップが記憶する前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第４手段と、

前記第４手段により改ざんされたと判定した際に、前記ＩＣチップが記憶する前記数値情報を改ざんされる前に戻す第５手段と、

前記数値情報を前記ＩＣチップへ送信する第６手段と、

前記第１ないし第６手段を有する装置と、を備えるシステムに用いることを特徴とする装置。

【請求項６】

プロセッサを、

請求項５に記載のシステムに用いる前記第３ないし第５手段として機能させるための制御プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決するため本発明のＩＣチップは、交換部品の交換時期に関わる数値情報と、前記数値情報を受信する受信手段と、前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段が記憶する最新を含む二つの前記数値情報同士を比較する第１手段と、前記第１手段の比較により記憶する最新の前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第２手段と、前記第２手段により改ざんされたと判定した際に、記憶する最新の前記数値情報を改ざんされる前に戻す第３手段と、を備え、前記交換部品に備えて用いることを特徴とする。